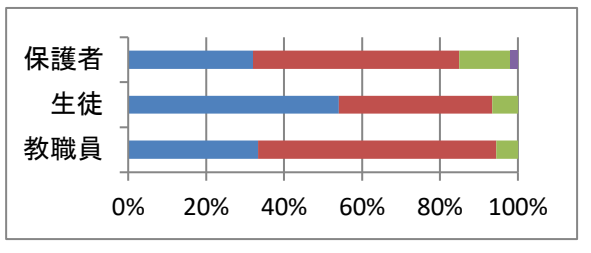
令和2年度　自己評価書・学校関係者評価書

■そう思う　■どちらかといえば,そう思う　■どちらかといえば、そう思わない　■そう思わない　■無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

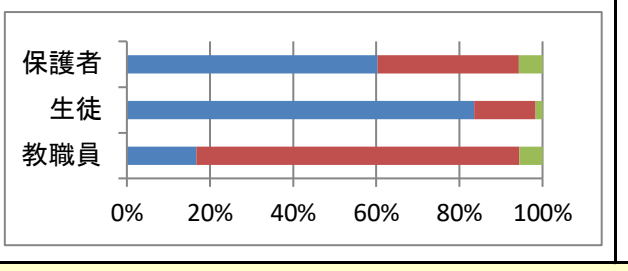
1　一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



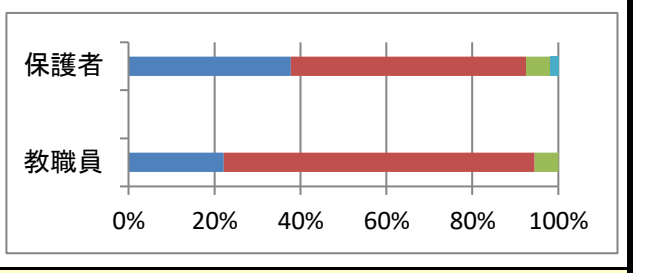
2　友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



3　道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重，思いやりなど）

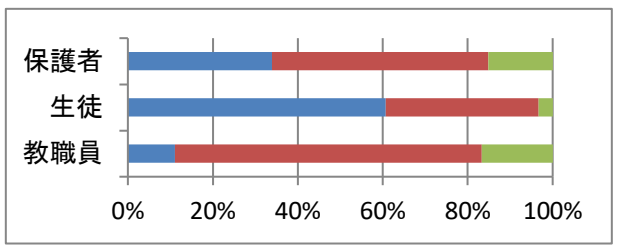


【学校から】〇一人一人の子どもを大切にした指導や対応が「できていると思う」という肯定的な答えが、生徒９３％、保護者８５％である。〇友達と仲良くしていると思うかについては、保護者・教職員が９４％、生徒の９８％が肯定的に答えている。〇学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると答えている保護者は９２％、教職員は９４％である。〇しかし、一人一人の子どもの尊重について、「そう思わない」と回答している保護者がおられることから、今後も丁寧な指導や対応ができるように学校全体で取り組んでいきたい。〇生徒が高い評価となっているのは、教職員の努力の結果である。

②確かな学力を育む教育の推進

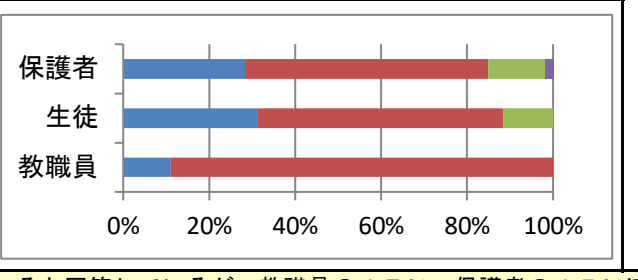
4　意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



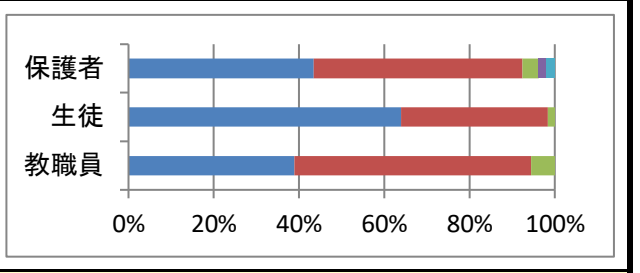
5　授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



6　ICT活用

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

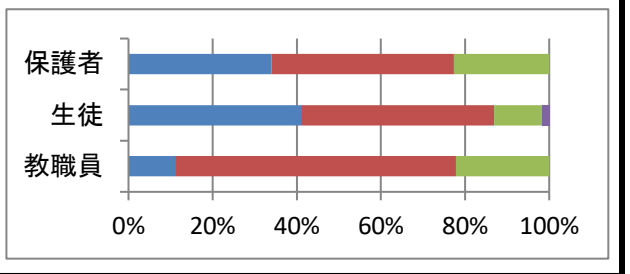


【学校から】〇生徒の９７％は、意欲的に授業に取り組んでいると回答しているが、教職員の１７％、保護者の１５％ほどが「どちらかといえばそう思わない」と回答している。〇教職員の１００％が、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると回答しているが、保護者の１５％、生徒の１１％程度が「どちらかといえばそう思わない」と回答している。今後も、学習意欲を喚起できるような授業づくりに努めていきたい。〇ＩＣＴ機器を活用したわかりやすい授業づくりについては、生徒の９８％が、「そう思う。どちらかといえばそう思う」と回答している。ＩＣＴの効果的な活用について校内研修等で研修を積み重ね、子ども主体の授業づくりにつなげていきたい。〇意欲的な態度や分かっていることが実感できる姿について、生徒に伝えていく必要がある。

③健やかな体を育む教育の推進

7　健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

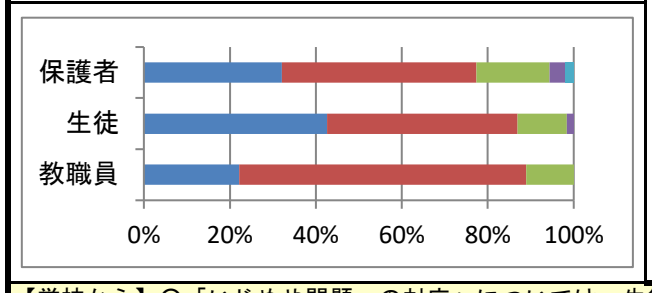


【学校から】〇健康づくりについては、保護者の７７％、生徒の８７％、教師の７８％が肯定的に回答しているが、昨年より、「どちらかというとそう思わない」と回答している割合が増加した。適切な食事運動睡眠について学習する機会をこれからも継続して設けていく。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実　②特別支援教育の推進

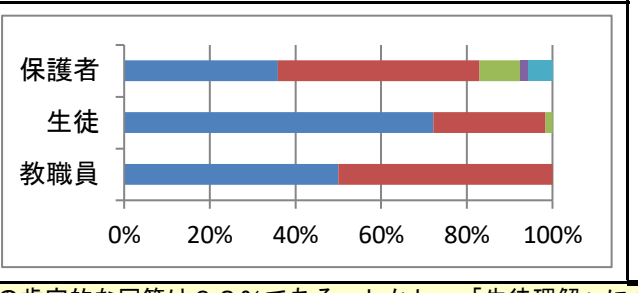
8　児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



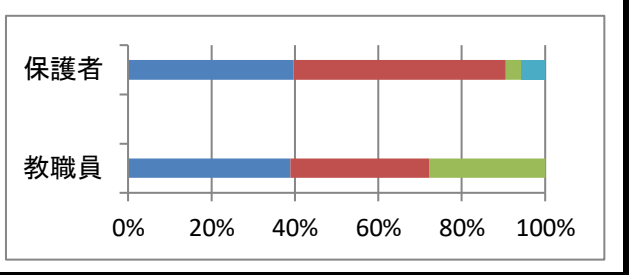
9　いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



10　学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

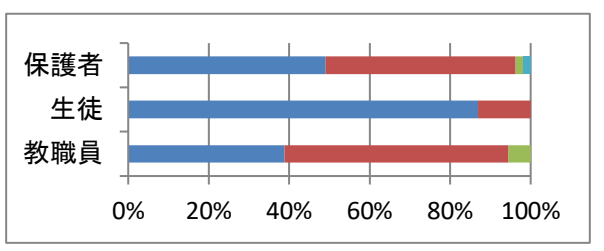


【学校から】〇「いじめや問題への対応」については、生徒の肯定的な回答は９８％である。しかし、「生徒理解」については、生徒の肯定的な回答は８７％で、「そう思わない」と回答している保護者が２１％（約１１世帯）もいることから、「生徒理解」の校内研修や情報交換を綿密に行い、一層の理解が得られるようにしていく。併せて、機会を捉え適切な保護者対応を行い、学校の姿勢を伝えていく。〇学校の支援体制については、保護者の９１％が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答している。反面、教職員は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」が７２％と回答し、昨年より低くなった。今後も、支援を必要としている生徒について、どのような手立てができるのか　これまで以上に職員間で共通理解を図り取り組んでいきたい。

①子どもたちの身近な安全対策の充実　②最適な学習環境の整備

11　安全と事故防止

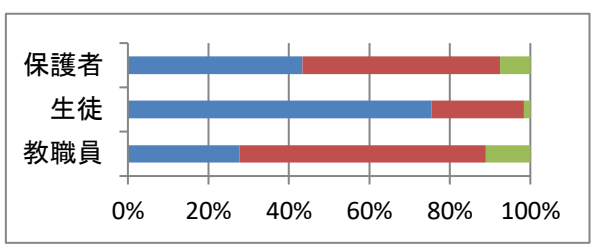
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】〇事故防止などの安全教育には、生徒の１００％、保護者の９６％、教職員の９４％が肯定的な回答であった。今後も、生命尊重の視点から命を守る教育の実現にさらに力を入れて取り組んでいく。

12　施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

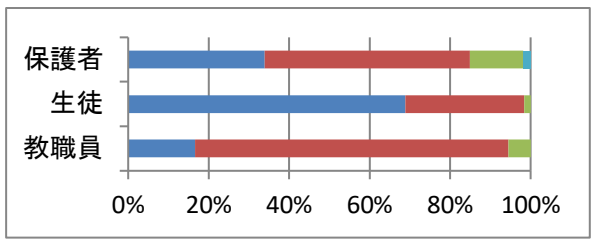


【学校から】〇施設・設備の安全管理については、教職員による毎月の安全点検を実施し、安全面に課題があれば速やかな修理・改善に努めている。「どちらかといえばそう思わない」の回答が０ではないので、今後とも丁寧な点検と速やかな営繕を続けていきたい。

③家庭・地域社会との連携強化

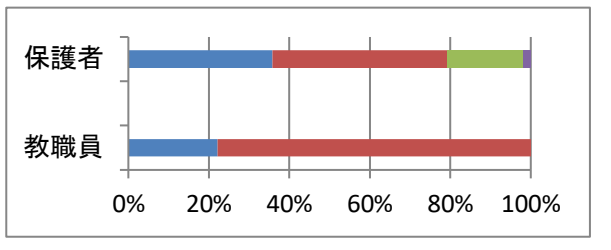
13　教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14　家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

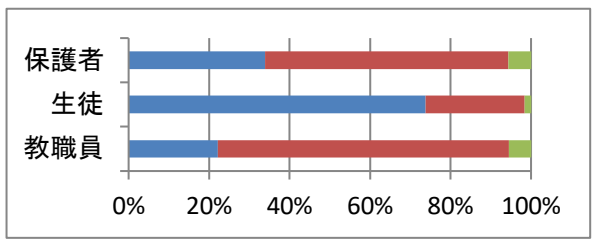


【学校から】〇教育方針や教育目標については、機会あるたびに話す場を設けたり、学校通信で知らせたりするなど繰り返し発信しているが、保護者の１３％（約７世帯）が「どちらかといえばそう思わない」という回答であった。今年度は、ＰＴＡ総会も実施できず授業参観も限られた回数での実施であった。今後も、折に触れて説明しながら、さらに機会を見つけてわかりやすく繰り返し発信していきたい。〇家庭や地域との連携を重視した教育活動を進めているが、保護者の２１％が不十分さを感じている。ＰＴＡ執行部と意見交換を行い、不足しているところを明らかにしながら、これまで以上に家庭や地域とより連携・協力し、教育活動を推進していきたい。

⑧本校の教育

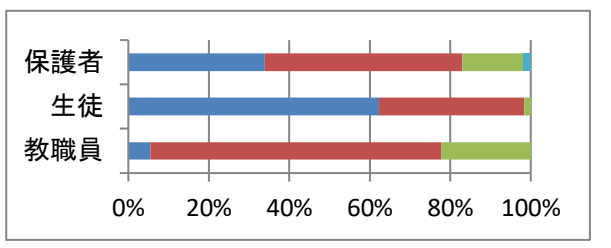
15　1豊かな人間性の育成

学校は、授業や行事等で、子どもたちがお互い協力し、互いを認めながら、自分も友だちも大切にする心や態度を育てていますか。



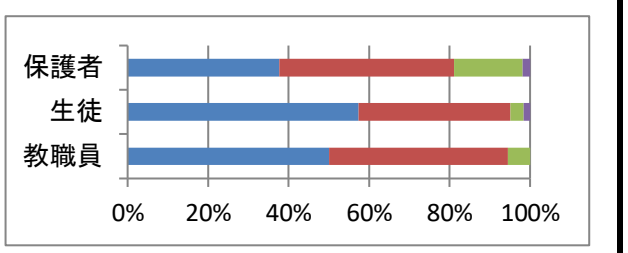
16　2確かな学力の向上

子どもは、授業中、先生に質問したり子ども同士で対話（質問、意見交換）しながら、協働的に学んでいますか。



17　3健やかな体の育成

学校は、早寝・早起きや十分な睡眠、また、新型コロナウィルス感染防止に向けての対策など保健委員会の活動や家庭との連携のもと、子どもの健康管理に取り組んでいますか。



【学校から】〇「豊かな人間性の育成」では、生徒の９８％、保護者・教職員の９４％が肯定的な回答であった。これからも学校生活の中で、子どもたちがお互い協力し、互いを認めながら、自分も友だちも大切にする心や態度を育成していく。〇「確かな学力の向上」では、生徒の９８％が肯定的に回答しているが、反面、保護者の１５％、教職員の２２％が「どちらかというとそう思わない」と回答した。今後も、ＩＣＴ機器を積極的に活用し、子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学習を推進していきたい。〇「健やかな体の育成」では、生徒と教職員の９０％以上が肯定的に回答したが、保護者の１９％が「どちらかというとそう思わない」と回答した。新型コロナウイルス感染防止の対応から実施できなかった大会や、家庭での健康の保持増進の難しさもあったと思う。今後も、睡眠の大切さや、新型コロナ感染防止について、学校保健委員会や保健だより等で啓発し、子どもの健康管理に取り組んで行く。

来年度の具体的な取り組みについて

〇豊かな心を育む教育の推進では、道徳の授業において、学年部が一つのチームとなり輪番で授業を行っている。今後も生徒と一緒に、考えを広げたり深めたりして豊かな心の育成を図って行くことに継続して取り組んで行く。
〇確かな学力を育む教育の推進に関しては、次年度より新学習指導要領が全面実施となる。今回の改訂が目指すのは、育成したい資質・能力をはっきりさせ、子どもの学びの過程を質的に高めていくことにある。そのためには「熊本市授業づくり５つの視点」と「令和版学びわくわく熊本市の授業づくり」の授業デザインを基に、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に取り組んで行く。加えて、ＩＣＴ機器を効果的に活用し個に応じた学習を推進していく。
〇健やかな体を育む教育の推進に関しては、教職員と保護者の肯定的な回答が低い。これからも、適切な食事・運動・睡眠について学習する機会を継続して設けていく。
〇いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実では、毎月の絆アンケートを活用した教育相談を充実させ、いじめ問題等の未然防止と早期発見に努め、子ども一人一人を大切にした指導や対応を進め、子どもの「命」が守られ「笑顔」が多く見られる学校にして行く。
〇特別支援教育の推進に関しては、良く取り組めている。職員間で情報を共有し、支援を必要としている子どもについて、どのような手立てができるのか、共通理解を図り取り組んで行く。
〇子どもたちの身近な安全対策の充実と最適な学習環境の整備では、教職員による毎月の安全点検を実施し、安全面に課題があれば速やかな修理・改善に努めていく。
〇家庭・地域社会との連携強化では、「再生資源回収」、「河内川清掃」、「一人暮らしの高齢者宅への花苗配付」等の活動を行っている。今後も、家庭・地域と連携し、教育活動を推進していく。
〇小中一貫校の取り組みとして、めざす生徒像を小中学校で共有し、ＰＴＡや地域と連携しながら「河内スタンダード」の実現を推進していく。

学校関係者評価

〇挨拶については、街中でも「立ち止まって挨拶」をしてくれます。素晴らしいと思う。
〇服装や身なりもきちんとしている。
〇子どもたちが、授業中も先生方の話を集中して傾聴しているように感じる。
〇先生方の目配りが効いており、一人一人の個性を大切にした授業が行われている。
〇生徒・保護者・教職員が一丸となって連携・協力して教育活動に取り組まれていることを感じる。
〇コロナ禍で実施された体育大会だったが、子どもたちがキビキビと動き、充実した体育大会であった。
〇子どもたちが頑張っている（高評価）という項目でも、保護者はもっと頑張って欲しいと思っていることが見受けられる。